

令和7年度第2回総合防災訓練【地震・津波編】 【市民アンケート調査結果】

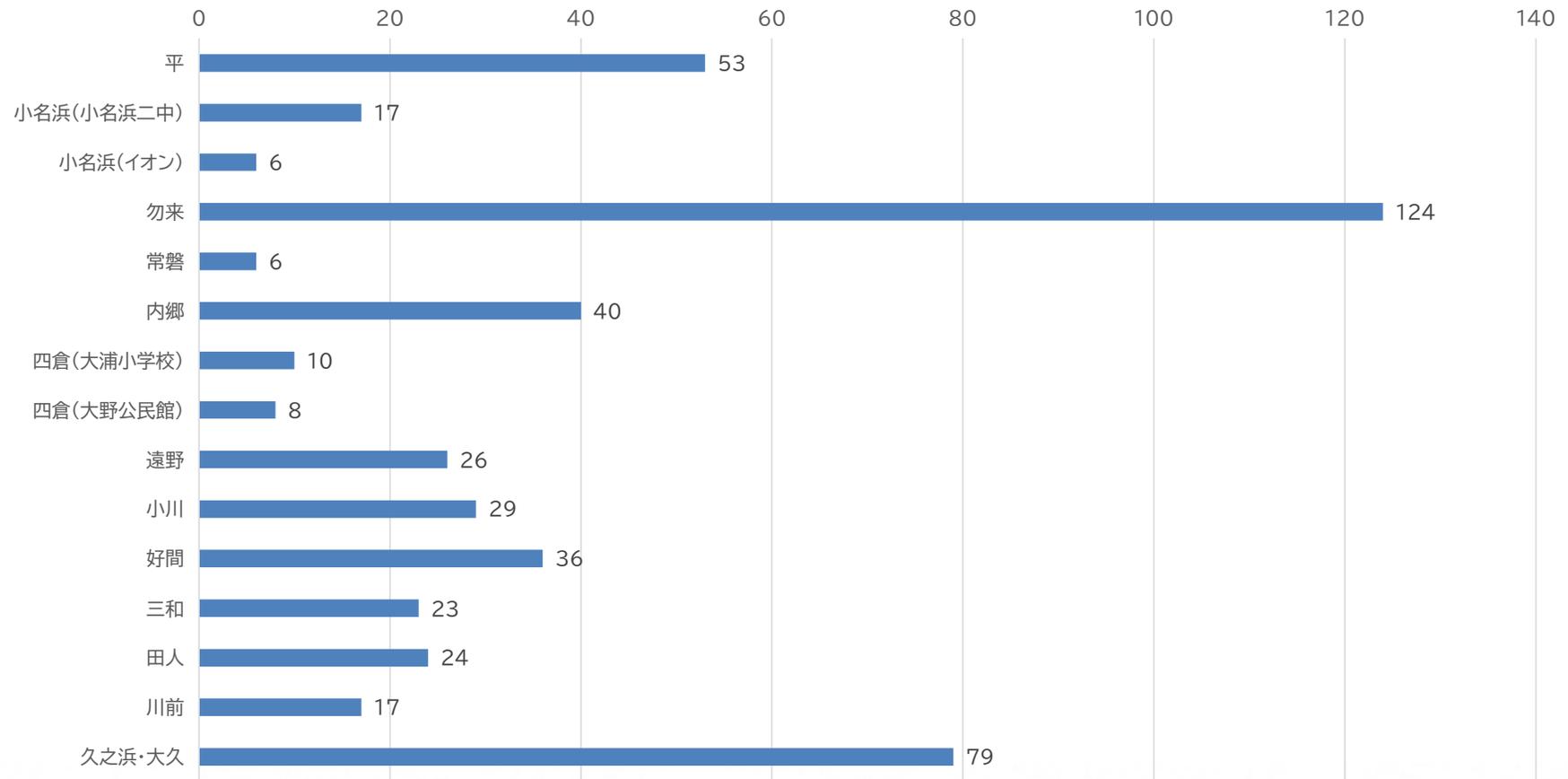


- 1 アンケート対象者
災対各地区本部主催の訓練に参加した市民 884名
- 2 アンケート回答数
498名





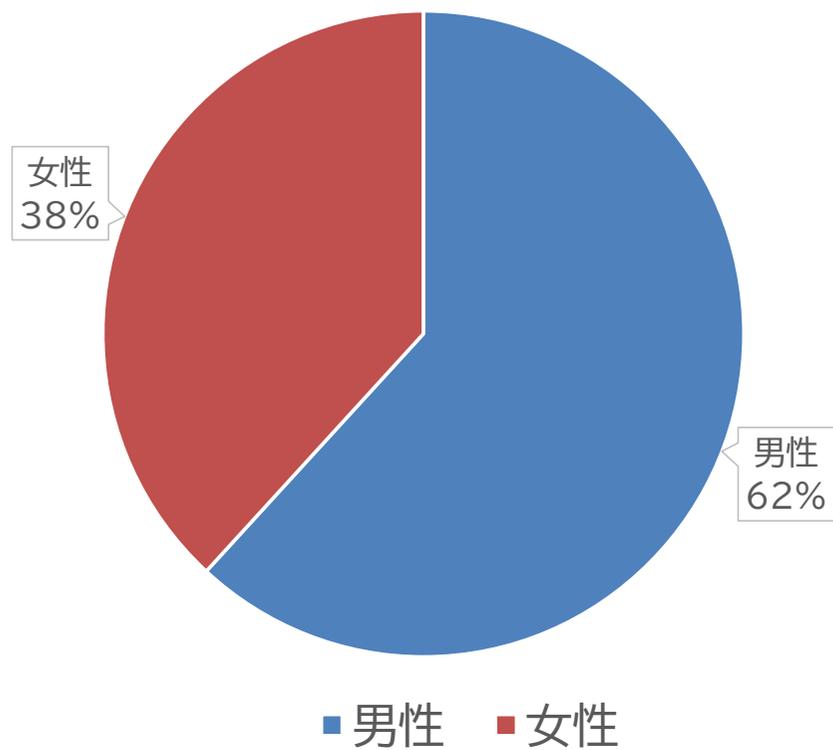
1. 地区別アンケート回収数(n=498)





2. 男女比の割合

性別	数
男性	308
女性	190
合計	498

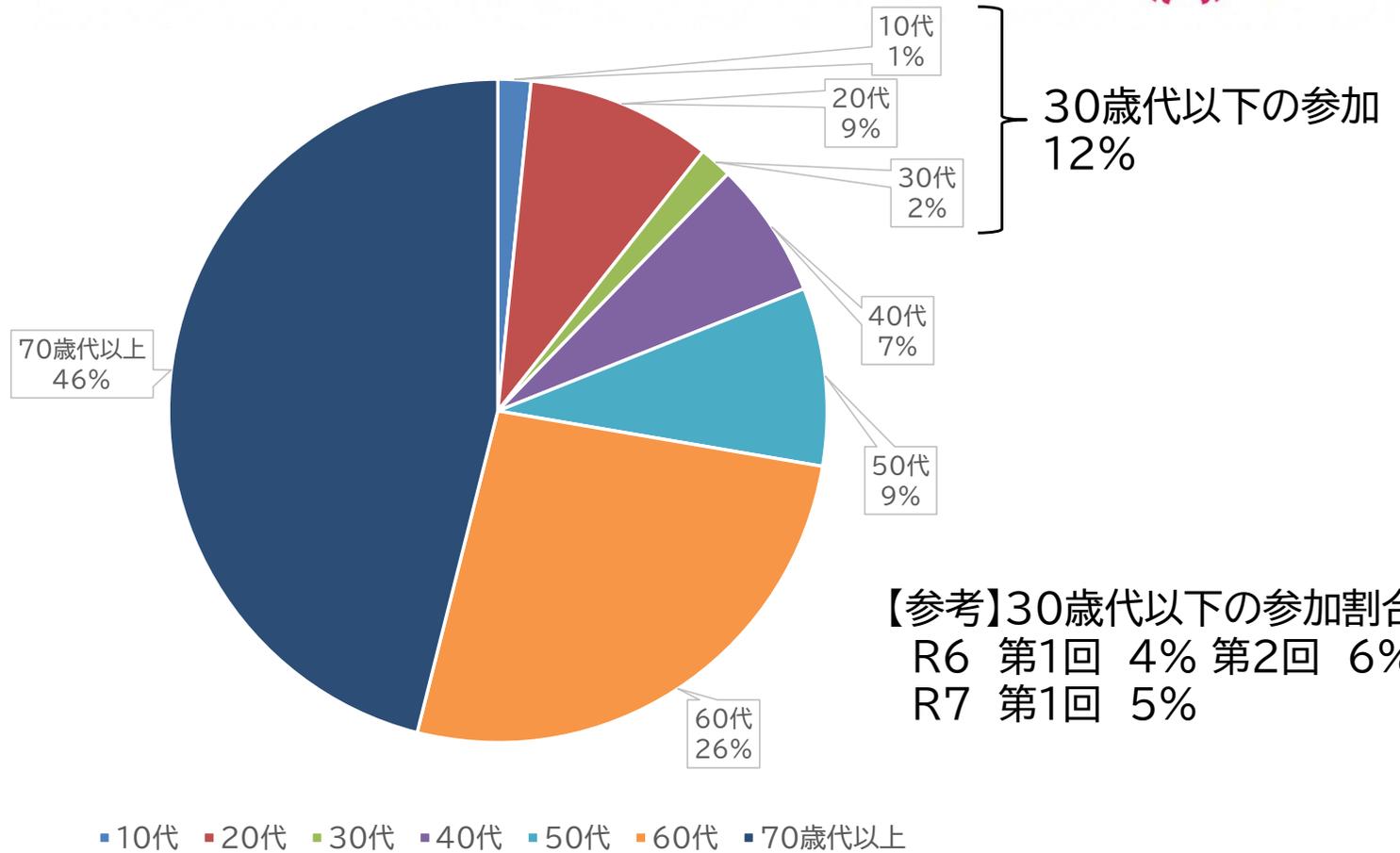




3. 年代構成割合

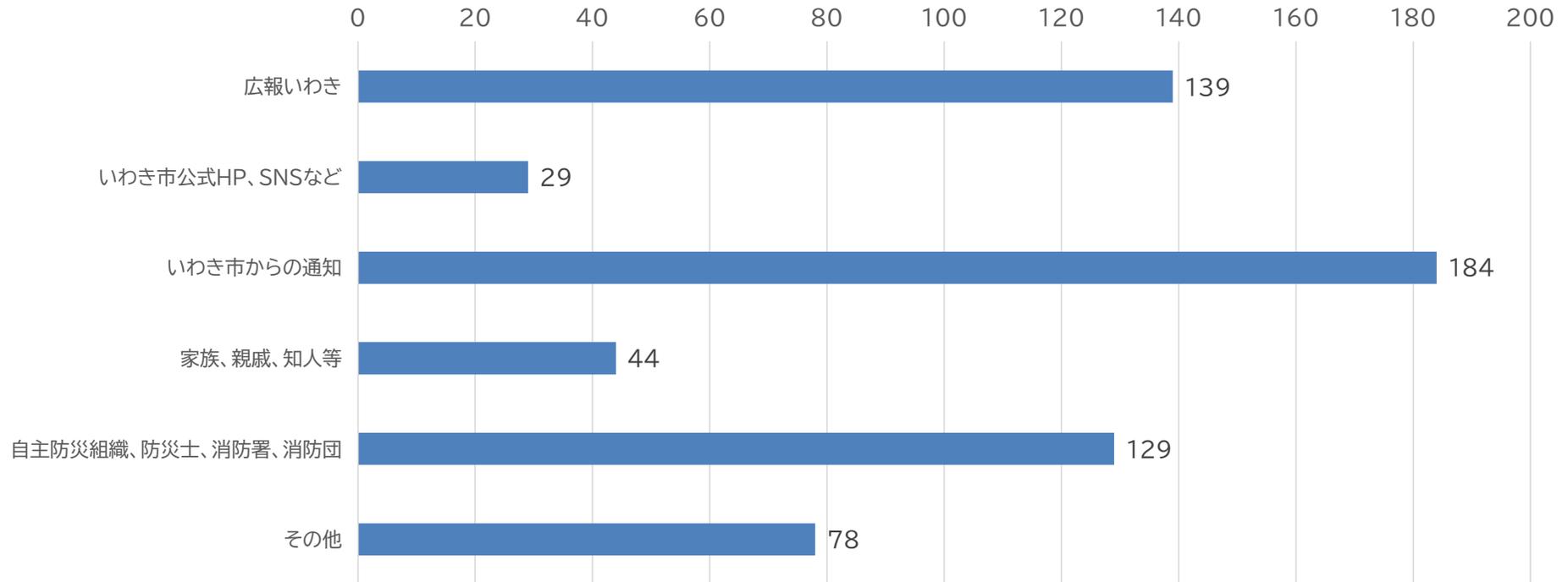
年代	数
10歳代以下	8
20歳代	45
30歳代	8
40歳代	33
50歳代	43
60歳代	130
70歳代以上	228
合計	495

※ 未回答3名





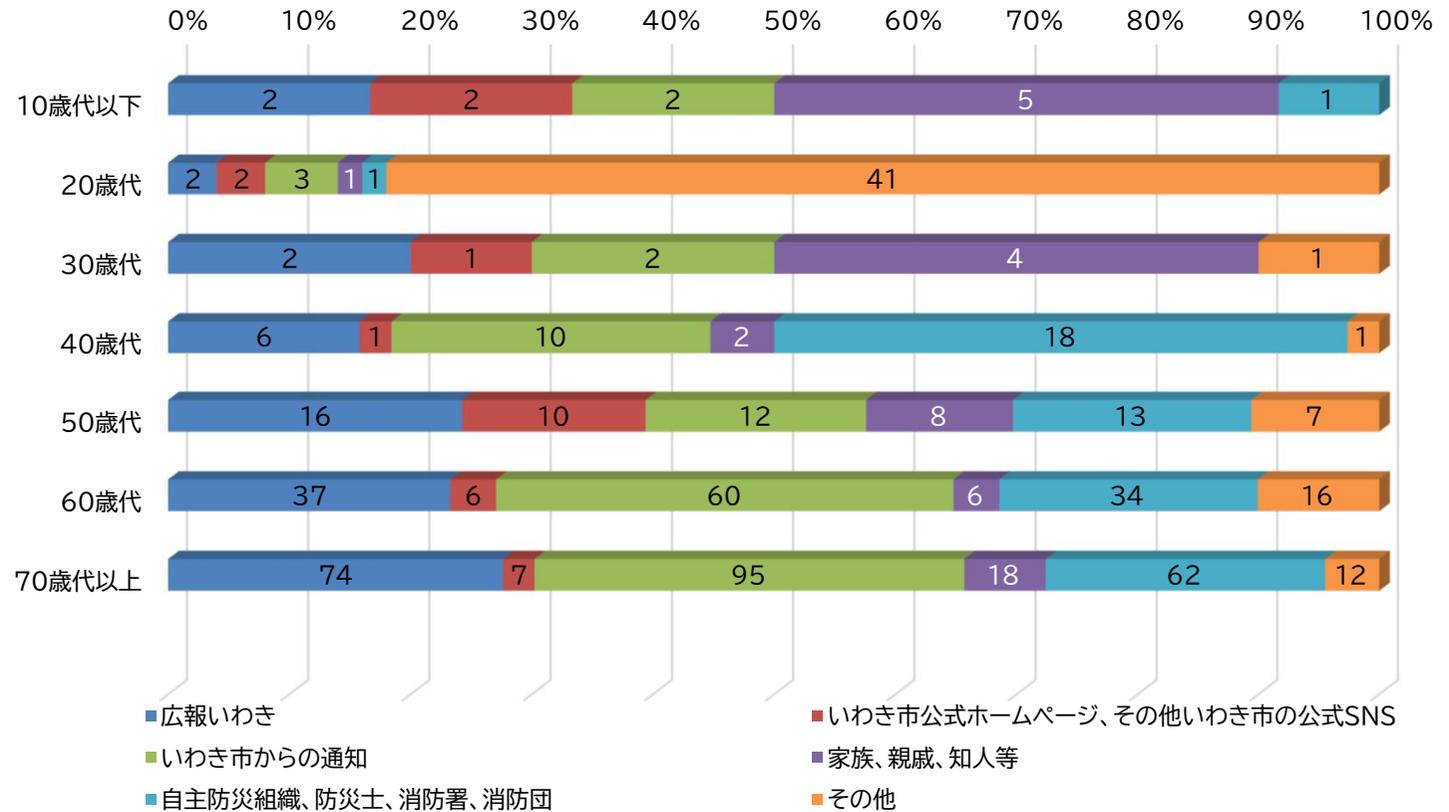
4. 訓練に参加できると知った方法(複数回答可)





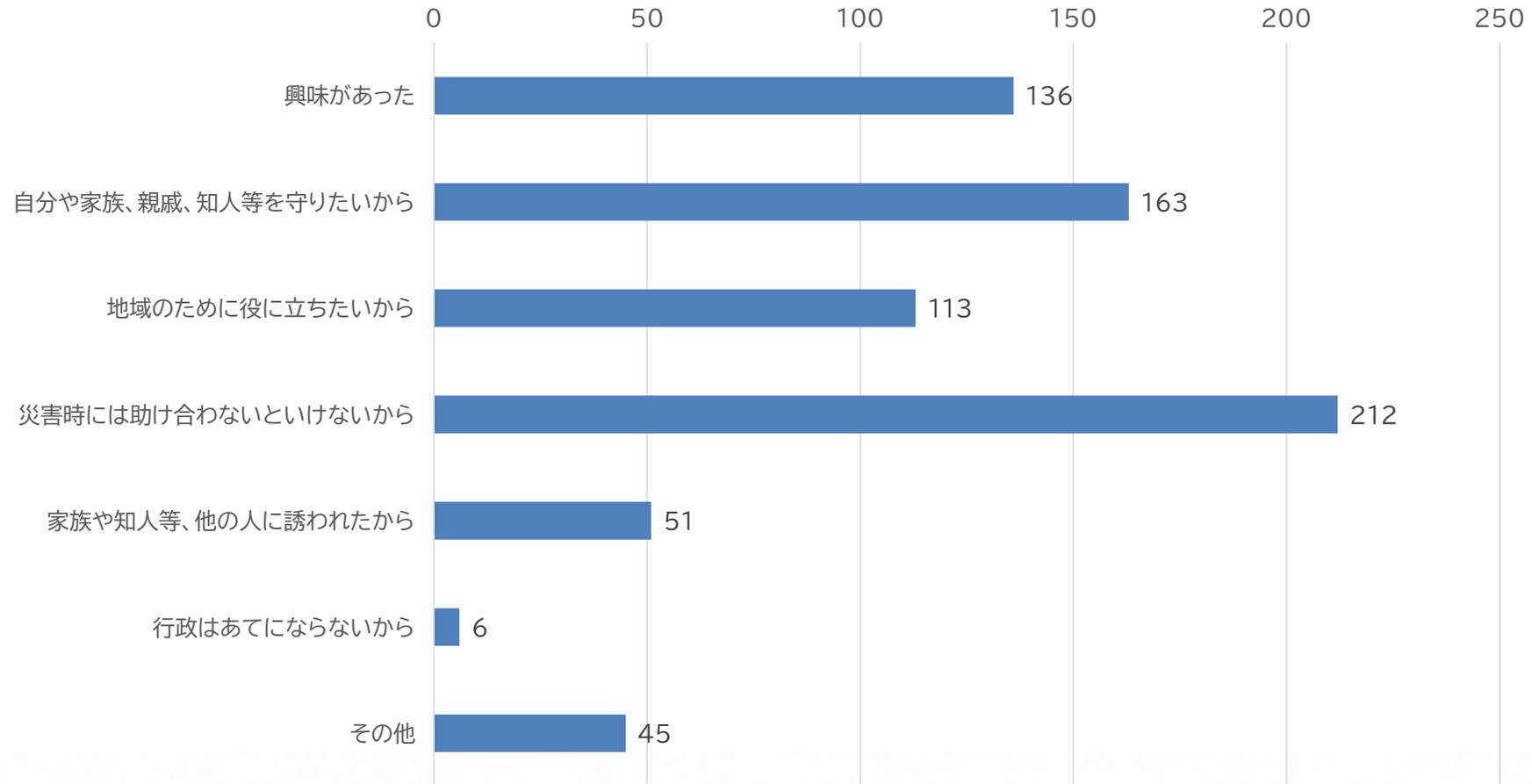
年代	数
広報いわき	139
いわき市HP 公式SNS	29
いわき市からの通知	184
家族、親戚、知人	44
自主防、防災士、 消防署、消防団	129
その他	78
合計	603

(年齢別)訓練参加に参加できることを知った方法





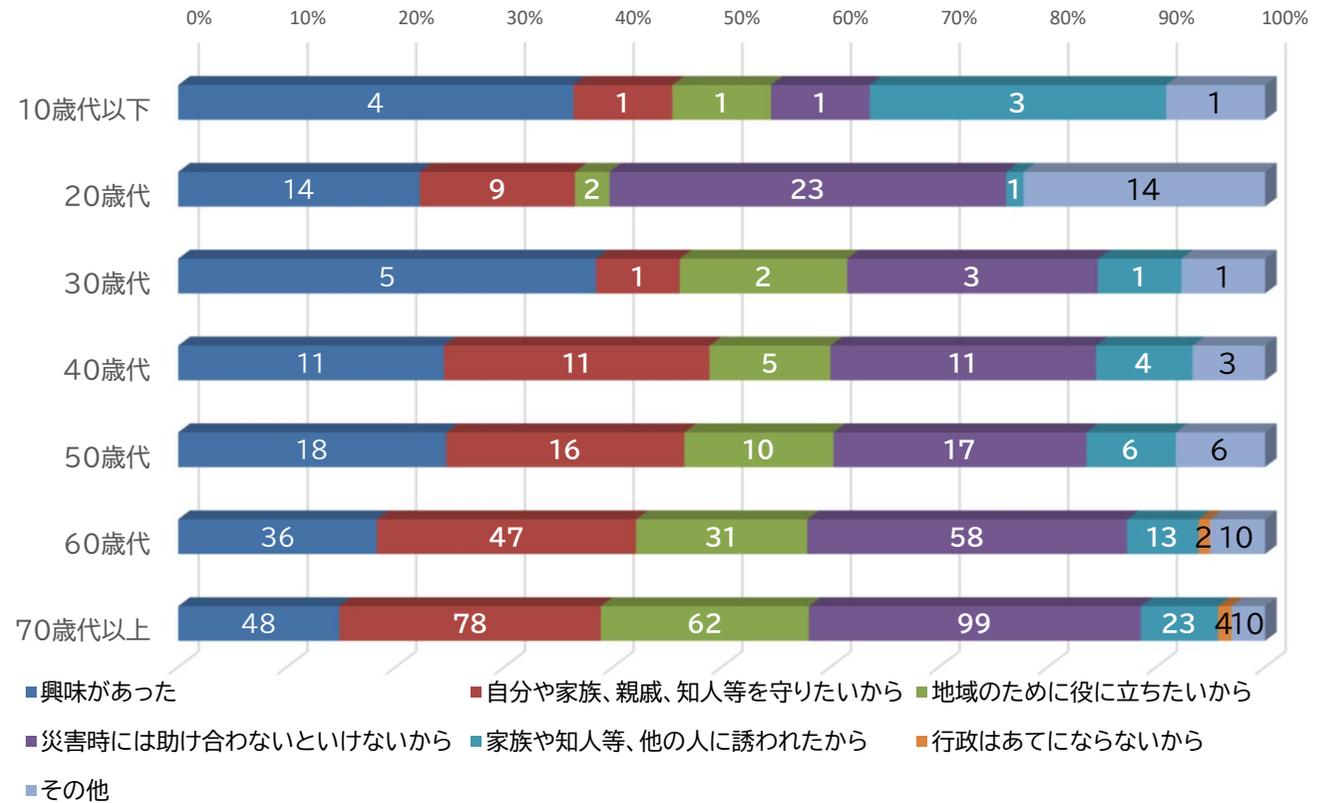
5. 訓練に参加した理由(複数回答可)





年代	数
興味があったから	136
自分や家族、親戚、知人等を守りたいから	163
地域のために役に立ちたいから	113
災害時には助け合わないといけないから	212
家族や知人等、他の人に誘われたから	51
行政はあてにならないから	6
その他	45
合計	726

(年齢別)防災訓練への参加理由

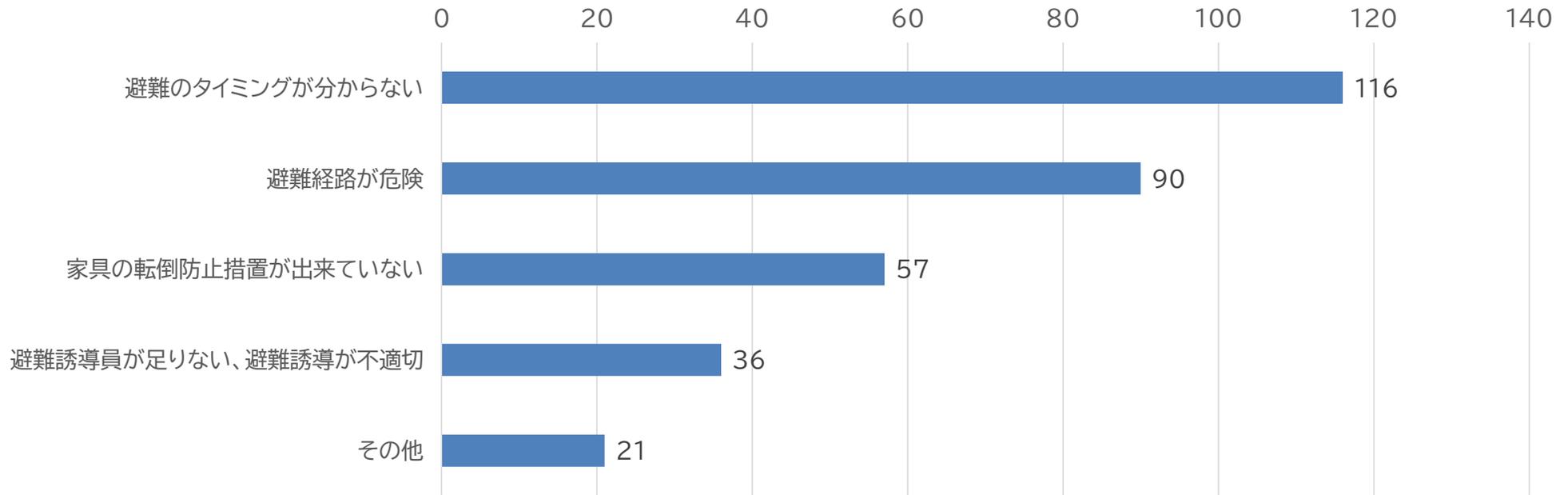


「災害時には助け合わないといけないから」という理由が多くみられた。＝共助の意識醸成





6. 訓練を実施し、感じた課題



※「その他」の主な項目は次が挙げられている。

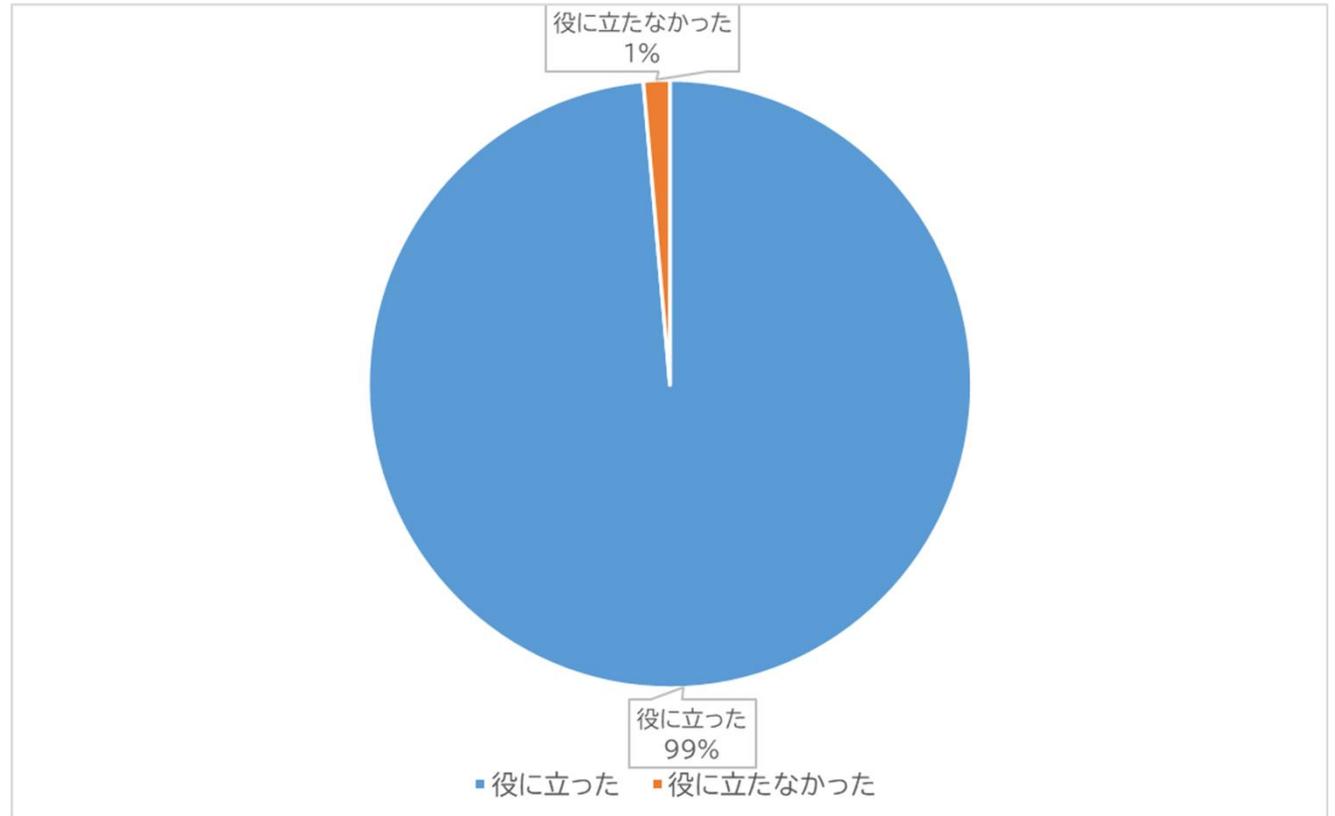
- 避難場所(体育館)の寒さ
- 高台に行く際の高齢者の対応(体力等)
- 自動車避難の際に渋滞の懸念





7. 訓練は役に立ったか

総合防災訓練について	結果
役に立った	419
役に立たなかった	6
合計	425





8. 訓練が役に立った・立たなかった理由

役に立った

- ① 災害時の想定をできた。
- ② 避難経路を認識できた。
 - ・改めて避難経路を確認できた。 ・避難経路の危険箇所を確認できた。
- ③ 防災講話の内容がよかった。
 - ・防災について知らなかったことを知れた。 ・分からない事が多く勉強になった。
- ④ 災害発生時にやらなくてはいけないことを知れた。
 - ・避難所の資機材の取扱いを学べた。 ・消火器の使用方法を学べた。
 - ・ケガへの対処法を学べた。
- ⑤ 周囲の地区の方と顔合わせができた。
 - ・区長、組長、区内の方々と顔合わせができた。 ・参加者と友好ができた。
 - ・近所の方たちを知ることができた。

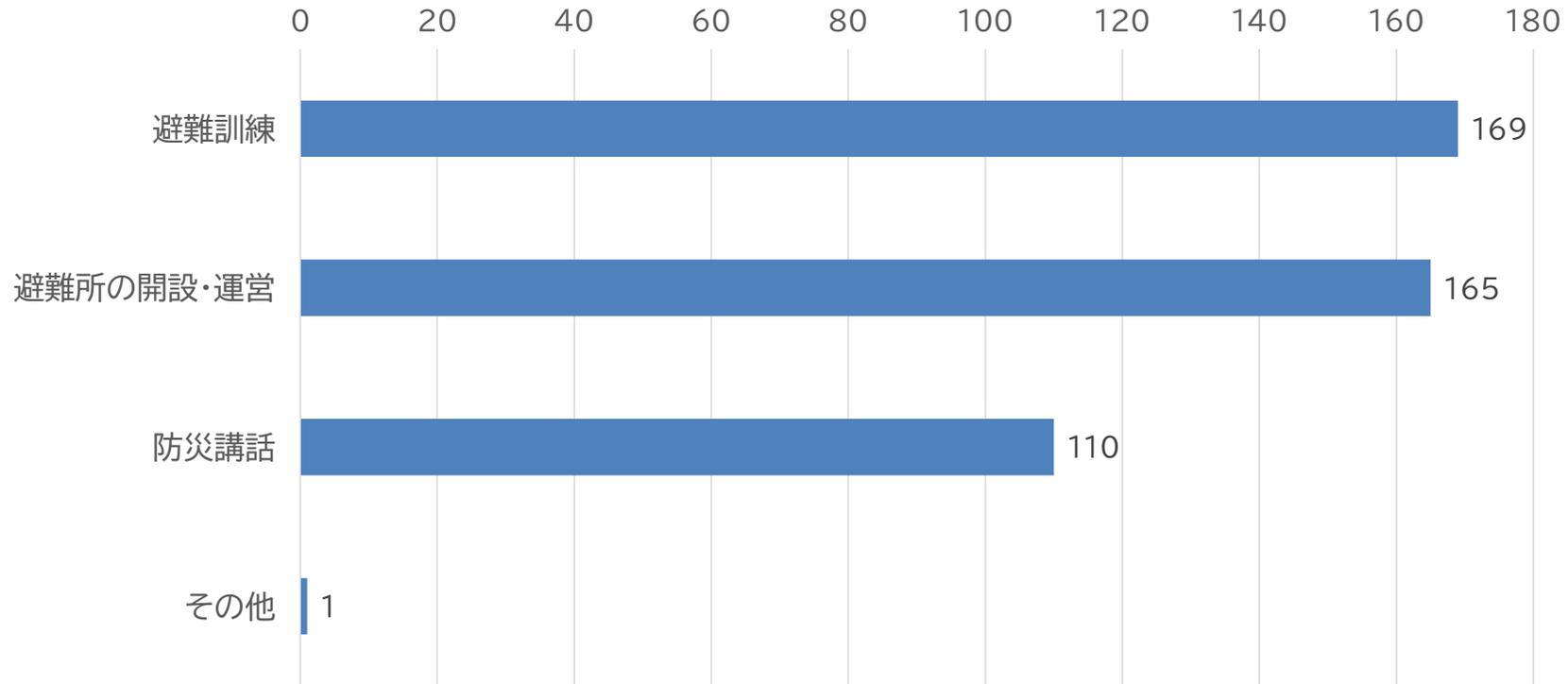
役に立たなかった

- ① 単なる集会になっている。
- ② 実態に合わない提案、資料提供であった。





9. 総合防災訓練で取り組みたい訓練があれば教えてください。(複数回答可)





10. その他(訓練に参加して感じたこと)

継続・強化を検討

- 津波避難ビルへの訓練で、その場所が津波避難場所と認識できた。蹴破り戸の蹴り方を知れた。
- 訓練でも体操などをして楽しめた。
震災を経験していない子供も参加しやすい内容だった。
- 気象庁・常磐共同ガスの講話が分かりやすかった。
- ペット同行避難を実施できて参考になった。
- 備蓄倉庫の資機材の取扱いが知れて参考になった。
- 防災グッズなどを実際に見ることができて参考になった。
- 定期的に訓練を実施することはいいことだと思う。

改善が必要

- 全体的に参加者が少なく感じる。特に若年層の参加が少ないので、若年層が興味を引く内容だったり、広報をもう少し行って良いのでは。
- 日曜日の実施であれば参加者がさらに増えるのでは。
- より実践的な訓練を実施してほしい。
- 講話などの話の際、もう少し被災者に配慮して話をしてほしい。
- 講話などの際、会場の体育館が寒かったため、対策をお願いしたい。
- 高齢者が多いため、その方たちを避難させる方法を考える必要がある。また、その対応を学びたい。

